

こどものまわりのおとなサミット

別添資料

あびら教育プラン(北海道安平町)

HP:<https://abira-edu-plan.jp/>

「日本一の公教育を目指すまち」安平町で、社会教育事業「あびら教育プラン」を運営しています。あびら教育プランは、4つのプログラムで構成されています。

「遊育」:
「好きが増える、好きが深まる」がコンセプト。全町民を対象に、遊びの場と機会の提供を行っている。室内外の遊び場運営、町内の事業者と協働したイベント、遊びの中から生まれた「やってみたい」を叶えるお店屋さんイベントが主な内容である。

「あびらぼ」:
「なんでもない日常に面白フィルターを」がコンセプトの小学校5年生から中学校3年生を対象にした放課後教室。学校や家庭では掘り下げないが、身近なテーマを扱っている。好奇心を広げるようなインプット機会だけでなく、実践を交えた体験機会も合わせている。

「ワクワク研究所」:
「キミがつくる世界でたった一つのプロジェクト」がコンセプトの機会。自分のワクワク心と挑戦を軸にしたプロジェクトの実行をサポートする機会である。子どもたちだけでなく、「ワクワクしたい」大人の参加も受け入れている。

「ABIRA Talks」:
「子どもから大人までみんなで創る夢への入り口」がコンセプト。小学校高学年から大人が対象の「やってみたい」を叶える機会。50名前後の町民サポーターに「やってみたい」の想いをプレゼンし、賛同してもらえると支援を得られる仕組みになっている。



草加市子ども会育成者連絡協議会(埼玉県草加市)

HP:<https://soukashikodomokai.wixsite.com/sokoren>

当会は、地域の子ども会の連合団体として、1967年に設立された歴史と伝統のある団体です。草加のこどもたちに様々な経験を積んでもらう場を提供し、異年齢集団での活動を通じてこどもたちに地域の中で豊かに育ってほしいという想いで活動しています。防災体験を兼ねて市内の小学校の体育館に宿泊する「学校でキャンプ」、こどもたちにお祭りでお店番体験をしてもらう「ふささら祭り子ども屋台」などの恒例行事のほか、毎年新たな事業も実施しており、今年度はこどもたちに自分たちでお化け屋敷の企画をしてもらい、準備や当日のお化け役などもってもらう「おばけ屋しきをつくってみよう！」を開催しました。また、当会の事業は、リーダーと呼ばれる中高大学生が中心となって企画運営しており、まさに「こどもまんなか」を体現するような活動を行っています。

また、当会は常に新たな挑戦をし続けており、2006年には、全国的に子ども会が衰退する中、子ども会の衰退の打開策として、中高大学生のリーダーたちが自ら設立運営し、子ども会の無くなってしまったすべての地域のこどもたちを対象とする全国初の組織「草加市子ども会」を立ち上げました。さらに、最近では加盟してくれる団体を増やすため、加盟できる「子ども会」の要件を緩和したり、これまでは子ども会の会員の保護者や子ども会の卒業生しかスタッフになれなかった仕組みを変え、誰でも活動に参加できるようにボランティア登録スタッフ制度という新たな制度を創設しました。

このように、私たちの団体は、全国的に見ても珍しい取組を多数行っており、また活動頻度も多く、全国屈指のこどもまんなか応援サポート団体です。



一般社団法人 HAKKEN(東京都千代田区)

HP:<https://hakken-world.com>

一般社団法人HAKKENでは、大きく3つの活動があります。

「SJEマルシェ」:

SJEでは年に2回、SJEマルシェを開催しています。地域の方々が気軽に遊びに来るマルシェで知的障がいのある方々が働いている世界を創っています。障がいのある方々は自分たちの可能性を探る場所、地域の方々には多様性を学ぶ場所を提供しています。また、企業の方々にはサンプリングx社員研修の場所としてご活用いただいております。

「HAKKEN WORKSHOP」:

HAKKENが独自開発する研修プログラムです。

多様性理解が一般企業でも多く叫ばれる現代社会で、本当の多様性の強さを理解できているでしょうか。多くの方は、「誰かを傷つけないため」「倫理的な話」と考えているでしょう。しかし、企業が多様性促進に取り組む理由は「多様なメンバーが集まる方が良い組織であるから」というのが本質的な見方です。より、チームのメンバーが輝けるコミュニケーション、より改革が生まれる多様性組織の作り方をぜひ一緒に考えましょう。

「HAKKEN MEETUP」:

定期的に障がいのある方と社会を繋げる交流イベントを開催しています。障がいがある方たちが、地域の社会や新たな人に出会うのは年に二回のマルシェでは足りません。地域の人や、障がいについて学びたい人が彼らと関わる機会はこの社会には多くありません。

そのような双方のニーズを満たすべく、HAKKENでは定期的な交流イベントを行っています。障がいのある方とその家族だけではなく、様々な地域の人が新しく出会い、楽しさを共有する空間です。



NPO法人 WakuWakuの家(山梨県山梨市)

HP:<https://wakuwakuyamanashi.wixsite.com/website>

共働き、核家族、貧困家庭が増える中、孤独な育児をしている母親が増え、また祖父母や地域とのつながりの希薄化も進み、様々な価値観に触れにくい環境の中で子どもたちが自己肯定感を育くむ機会を失い、無気力・無関心になっている。子どもの貧困は経済・情報・環境的な3つの要素が絡み合っている。また不登校や発達障害児の増加は社会的な大きな問題である。それらの問題を含め、子育ての悩みを抱える親たちの交流の場、色々な遊びを経験する場、様々な世代との交流の場が必要であると考え、フリースクール、インクルーシブな放課後の居場所、野外体験活動、子ども食堂を開催し、人が繋がり認め合える居場所作りを行う。

1. 放課後学童支援事業
2. 不登校児童・生徒・保護者の支援事業
3. 長期休暇学童支援事業
4. 自然体験活動事業
5. 10代の子どもの向けキャリア教育事業
6. 子ども食堂事業
7. カフェ事業（休日居場所開放事業）

●上記の事業全ての企画運営

(全ての事業を通して)子育て相談の受け入れ、気になる子や保護者への声かけ、必要に応じて行政や学校との連携、関係機関の紹介を行う。



長浜子どもまなか(滋賀県長浜市)

HP:<https://www.city.nagahama.lg.jp/0000014027.html>

【高校生・大学生向けサードプレイス『itteki』(イッテキ)】

JR長浜駅から徒歩1分の高校生と大学生向けのサードプレイス
コンセプト:つながるキッカケ itteki

高校生・大学生のやりたいことが実現する場所です。

高校生や大学生がやりたいことを見つけ、その実現の応援をするため、好きなことに自由に取り組むことができる「itteki」で長浜での暮らしを楽しむ若者を増やすための活動を令和5年7月から行っています。

総利用者10000人越え 登録者数850人
長浜市だけでなく滋賀県各地から利用してくれています。



認定NPO法人子育てネットくすくす(香川県善通寺市)

HP:<https://www.k-kusu.com/>

子どもたちの幸福を第一に考え、そのためには親子を中心とした家族全体への支援が必要であるとの前提に立って、住民同士の支え合いと学び合いに基づく地域子育て環境づくりを目指すとともに、お互いの顔が見える地域社会の再生を図っていくことを基本方針としています。親同士が協力し合って子育てを応援する活動を一緒につくりだすことを目指し、地域に根ざした子育て支援を行うNPO法人として平成14年3月に活動を始めました。障がいのある・なしにかかわらず親子がともに子育てを楽しみ、学びあい、支え合う活動を大切にしています。子どもの健全育成を図る諸活動や子どもたちの幸せを応援するまちづくりを学生や地域ボランティアの協力を得て積極的に行っています。

主な活動

- 子育て広場くすくす・子夢の家(地域子育て支援拠点事業)
- 善通寺市利用者支援事業
- すまいる(児童デイサービス事業及・放課後等デイサービス事業)
- すてっぷ(おもに中・高校生の放課後等デイサービス)
- 相談支援事業所くすくす(特定相談支援事業・障害児相談支援事業)
- ほっこり食堂・ほっこりパントリー(子ども食堂・ひとり親等生活困窮家庭への食料支援)
- きもちっち(不登校などの居場所支援)



世田谷区立希望丘青少年交流センター(アップス) <https://www.ups-s.com/>



希望丘青少年交流センター、愛称「アップス」はいつでも、気軽に使える若者のためのフリースペースとして開設されました。一人で気軽に、友人との交流の場に、大きなイベントや小規模のワークショップなどにもお使いいただけます。勉強・遊び・音楽・スポーツ・料理などと利用の仕方は人それぞれ。予定なく、ふらりと来られる方も大歓迎です。あなたの、あなたらしいアップスの使い方を見つけてください。みなさんのご利用をお待ちしております。

<所在地>

〒156-0055 世田谷区船橋6-25-1-3F
Tel 03-6304-6915/Fax 03-6304-6916

<アクセス>

小田急線「千歳船橋駅」下車 徒歩20分
京王線「八幡山駅」下車 徒歩20分

<利用対象者>

39歳までの若者が中心です。

<利用時間>

9時～22時(原則として、小学生は18時まで。中学生は20時まで)

<休館日>

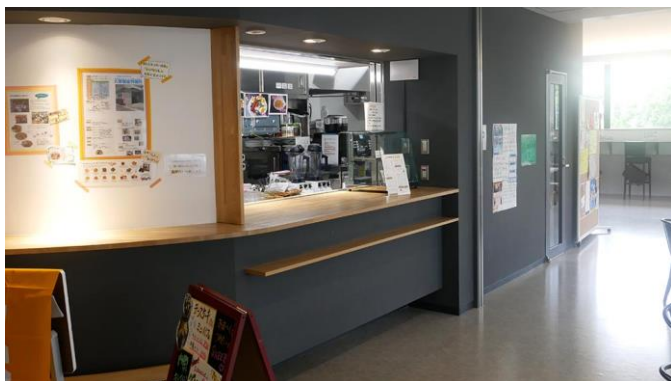
毎月第3火曜日
(ただし、その日が休日に当たるときは、その直後の休日でない日)
年末・年始(12月29日～1月3日)
10月の第3日曜日(全館設備点検)

●多目的ホール



充実した音響設備の中、バンド・ダンス・演劇など日頃の活動の成果を思いっきり表現しよう。普段は卓球やジャグリングなども。第2・4金曜日は青少年団体・青少年育成団体は団体利用も可能です。一定の条件がありますのでご相談ください。

●カフェキッチン



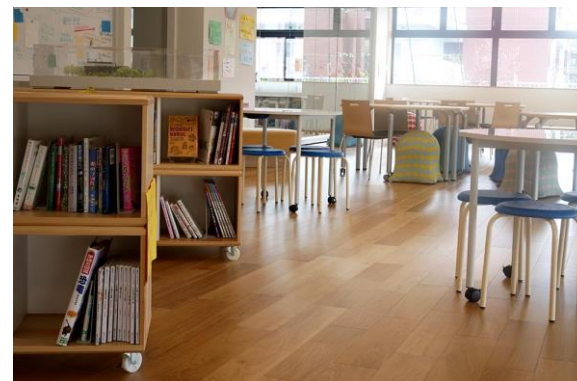
パスタなどの軽食や、コーヒーやスムージーなどの飲み物を提供するカフェキッチン。毎週木曜日は定休日になります。

●交流スペース



明るい光が差し込む誰でも利用できるスペース。ハイカウンター席でFree Wi-Fiを使ってインターネットやゲームをしたり、カフェで食事をしながらおしゃべりしたり。

●多目的スペース



のんびり過ごせるフリースペース。雑誌やボードゲームも充実。おしゃべりしたり、マンガを読んだり、好きなことをして過ごそう！

●音楽スタジオ



完全防音の大小2つのスタジオ。ドラムセットやギター・キーボードなども充実。スタジオ大にはミキシングルームも完備。

●調理室



団体でも個人でも使える調理室。食事を作ってみんなでワイワイと食べることも出来ます。手芸やクラフトにも使えるよ!

●学習室



静かに、集中して勉強ができる学習室。32席のスペースは、中学生以上の若者だけがご利用いただけます。受付で番号札を取ってご利用ください。

●青少年専用会議室



グループでのミーティングに使える部屋。奥には、館内放送を利用したDJのためのブースも。利用を希望するグループは受付まで。

●せたがや大人図鑑



世田谷区にゆかりのある魅力的な大人と出会うプログラム。さまざまな職業人、一味違う面白い体験をしてきた大人をゲストに迎えてトークやワークショップを楽しみます。これまでに、医者・美容師・舞台美術・自転車で日本一周をした人・落語家・陶芸作家・和菓子職人など幅広いゲストにお越しいただきました。

●P-work



カフェを活用した就労支援プログラムです。研修プログラムを修了後、3～6か月の間、カフェでユーザーとともに有償で働くことができます。

●楽しい食卓プロジェクト



参加者みんなで買い物、調理、食事、片付けを楽しむプログラムです。メニューは食後のミーティングやアンケートで決めています。小学校5年生以上が参加できますが、小学生は保護者のお迎えが必要です。

●アクション



1人1人の「やってみたい」を、仲間を集めて、みんなで実現するためのプロジェクト。大人では考えつかないようなプロジェクトにトライ。活動を助成する「チャレンジ・アクション」という制度もあります。これまでに「3 on 3大会」「屋台づくり」「麻雀大会」「音楽フェス」などを実施しました。

※「こどものまわりのおとなサミット」当日には、これらのプログラムは開催されておりません。